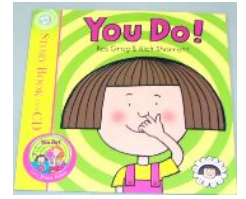


多読クラブ通信(2011年5月号)

新規入荷本のご案内(置き置きリクエストは stepworld@e-pal.co.jp までお願いします)

●You Do YL:1.0 総語数:400(大型本、レターパック不可)

ママは幼い娘デージーに「鼻をほじっちゃダメ」「テレビに近づいて見ちゃダメ」などと注意しますが、そのたびに「You do!」と反論され、苦しい言い訳をします。ちょっと天然ボケなママと口達者な娘の日常生活がほのぼのと浮かびあがります。CD付。



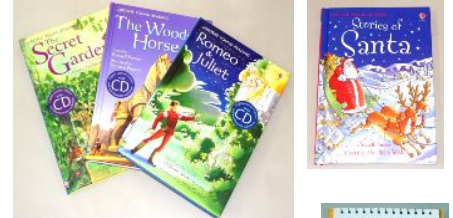
●Wooden Horse YL:1.5 総語数:1600

●Stories of Santa YL:1.5 総語数:1600

●Secret Garden YL:1.7 総語数:2100

●Romeo & Juliet YL:1.7 総語数:2100

Usborn Young Reader シリーズに4冊追加。これで計25冊です。話の内容は昔からよく知られたものが多いです。すべてCD付。



●Case of the Library Monster YL:3.5 総語数:13300

Buddy Files の5巻目入荷。



●Niagara Falls, Or Does It? YL:4.5 総語数:27900

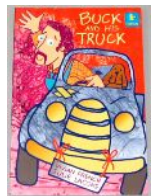
●I Got a D in Salami YL:4.5 総語数:21300

Hank Zipzerシリーズ、最初の2巻。一生懸命にやるんだけど、学校ではうまくいかない。ニューヨークの小学校4年生 Hank Zipzer と仲間達の日常を語るシリーズの第一巻。Hank は、作文課題「夏休みをどう過ごしたか」に、家族と行ったナイアガラの滝を書こうとするが、なかなか筆が進まない。そこで、Hank が思いついた起死回生の名案は...



●Buck and His Truck YL:1.8 総語数:2000

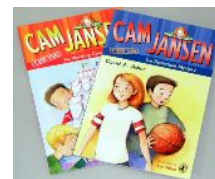
Walker Starter シリーズに1巻追加(全15冊)です。たいした内容のある話ではないが、素朴なイラストと文体が、なんだかヨーロッパを感じさせてくれます。



●C.J. Basketball Mystery YL:2.5 総語数:4900

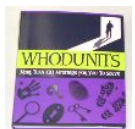
●C.J. Wedding Cake Mystery YL:2.5 総語数:4900

Cam Jansen シリーズに2巻追加、#29、#30です。



●WHODUNITS YL:5.5 総語数:31200

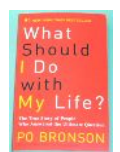
Who Done it? 「誰だ犯人は?」長さ1~3ページの短編ミステリーが100本以上入っています。



●What Should I Do with My Life? YL:5.5 総語数:107500

The True Story of People Who Answered the Ultimate Question

ポー・ブロンソンが仕事について論じた『What Should I Do with My Life?』は、先を読み進まずにはいられないおもしろさである。「自分の好きなこと、運命の仕事」を探し求める50人のプロフィールが読者をとらえてはなさない。



●Cross Cultural Seminar

大杉先生とアメリカ出身のスーザンさんが繰り広げる軽快な英語のトークが60本。(毎回、いちいち名前から自己紹介しないでくれ。。。と言いたくなるのだが)



●The Lucky One YL:6.5 総語数:96500

●The Last Song YL:6.5 総語数:140000

ニコラス・スパークスの恋愛もの作品を二つ。どちらも映画化されています。

●My Sister the Vampire #1: Switched YL:4.5 総語数:31900

●My Sister the Vampire #2: Fangtastic YL:4.5 総語数:32000

転校してきた快活な Olivia。一方で、見た目が正反対に暗めの Ivy。正反対に対照的な双子のような二人ですが、Ivy がヴァンパイアであることがわかります



PGR ペンギンの新刊多数入荷

●Five Plays for Today YL:2.4 総語数:6100

●London YL:2.4 総語数:6900

●Daniel Radcliffe YL:1.0 総語数:2000

●William Tell YL:1.2 総語数:3700

●Fox YL:2.5 総語数:8400

●Marley & Me YL:2.6 総語数:10700

●Martin Luther King YL:3.2 総語数:9300

●Last King of Scotland YL:3.5 総語数:13700

●Stories of Survival YL:3.5 総語数:9800

●Road Ahead YL:3.2 総語数:7800

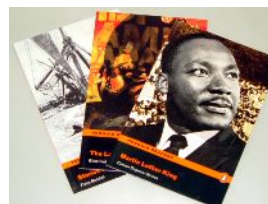
●Beatles YL:3.2 総語数:8700

●Unbowed YL:4.5 総語数:20700

●Mirror Crack'd from Side to Side YL:4.5 総語数:20100

●Five People You Meet in Heaven YL:5.0 総語数:26700

●King of Torts YL:5.0 総語数:29900



●大西泰斗のイメージ英文法 (DVD 付属)

この人の主張する一連の英文法に関する考え方には同意するのだが、さすがに何冊も読むと飽きる。



●The Red Book YL:3.5

読むというよりは聞いてリスニングの力を強化しながら、イギリス英語とその文化に触れるような本です。音声元は難易度の高い街の生素材。それを分割して解説しています。



●英語で生き残るためのたった一つの習慣

なんだかタイトルが重いねえ。結局言いたいことは「英語を身に付けるには、英語を母国語とする国で小中学校の課題図書となっている本を、毎日 20 分でも読むこと」なのである。しかもこの本、著者の話は最初の 30 ページだけで、後は延々と推薦図書の紹介。つまりブックガイドなのである。これで本にしているのか？と正直思ったが、まあ、多読の勧めということで OK。しかしねえ、小学校の課題図書なんて簡単に言うが、YL で言うと 1.5 から上が中心で難しすぎです。



お知らせ:5月よりOBW(オックスフォードブックワーム)のレベル0と1の約40冊に音声CDが着きます。これで、GR(グレーデッドリーダー)に関してはすべて、YL2.0以下が8割以上音声CD付となります。